

◇ 令和4年度視察実績

○ 年間受け入れ数 34件 ※令和4年4月1日～5月31日受け入れ自粛

○ 主な受け入れ項目

順位	受け入れ数	項目	概要
1	9件	かごしま環境未来館	鹿児島市では2019年12月、脱炭素社会の実現を目指し、2050年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティかごしま」を宣言した。その実現に向けて、平成20年にオープンした環境学習の拠点施設「かごしま環境未来館」の展示を全面的に見直し、国連の持続可能な開発目標「SDGs」の視点を踏まえて学べる施設として、2020年3月20日リニューアルオープンした。【平成20年10月開館】
2	6件	新南部清掃工場	資源循環型社会・脱炭素社会の推進を図るため整備を進めてきた、新たな「南部清掃工場」。エネルギー源としての廃棄物の有効利用と、再生可能エネルギーの地産地消に取り組み施設として整備し、収集した生ごみなどから作ったバイオガスを、都市ガス事業者を通じて市民の皆さんなどに供給する取り組みは、全国初となっている。 また、新たな工場の整備・運営において、本市初となるDBO方式を採用しており、今後の維持管理等にも、民間事業者のノウハウを幅広く活用することとしている。【令和4年1月供用開始】
3	3件	すこやか子育て交流館（りぼんかん）	子育て中の親の不安感や負担感を軽減するとともに、子育て家庭や団体等の活動をさまざまな角度からサポートする総合的な子育て支援の拠点施設で、「ひろがる笑顔、支え合う子育て」をコンセプトに、親子が気軽に集い、相互に交流する場を提供するとともに、育児相談や子どもの一時預かり、子育てに関連する情報の発信や関係団体等との連携・情報化の共有を行い、地域の子育て支援機能のさらなる充実を図っている。【平成22年10月開館】
4	2件	観光農業公園（グリーンファーム）	農村地域の魅力ある自然、農畜産物等の資源の活用により、農村地域の活性化を図るとともに、食と農への理解や循環型農業への関心を高め、観光の振興に資することを目的とした、本市のグリーンツーリズムの拠点施設。【平成24年11月開園】
4	2件	ゼロカーボンに向けた取り組み	本市は国際社会の一員として、九州の市では初めて2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする都市の実現に市民や事業者の皆さんと一体になって取り組むことを決意し、「ゼロカーボンシティかごしま」への挑戦を宣言しており、「ゼロカーボンシティかごしま」の実現に向けて、「第三次鹿児島市環境基本計画」及び「ゼロカーボンシティかごしま推進計画」に基づき、各種取組を進めている。
4	2件	低地区総合浸水対策緊急事業	平成16、17年の台風接近に伴って、海岸に近い低地区を中心に3回の浸水被害が発生したことから、低地区総合浸水対策緊急事業として19年度から23年度にかけて浸水対策を行った。従来の公共下水道計画の基準を超過した「潮位」に対応するため、浸水被害を受けた9地区において、地元説明会を開催しながら5年間で整備を進め、雨水ポンプ場等のハード対策に加え、ハザードマップによるソフト対策、また土のう設置等の自助を組み合わせ対策を図った。これらの取組が評価され、同事業が令和3年度国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」を受賞した。
4	2件	天文館図書館	まちなかで誰もが気軽に本と触れあうことができる天文館図書館を、センテラス天文館4階及び5階のフロア内に設置し、図書の貸出・閲覧のほか、多彩なイベントやアーティスト等の作品を展示する有料ギャラリーの設置などのサービスを提供している。 約4万冊の様々な分野の蔵書を備え、セルフ貸出機や座席予約システムなど、ICT機器も活用しており、幅広い世代の皆さんが、読書をはじめ、それぞれの目的に応じて過ごすことができる図書館が、天文館はもちろん、鹿児島市の新たな交流拠点として、親しまれている。【令和4年4月供用開始】